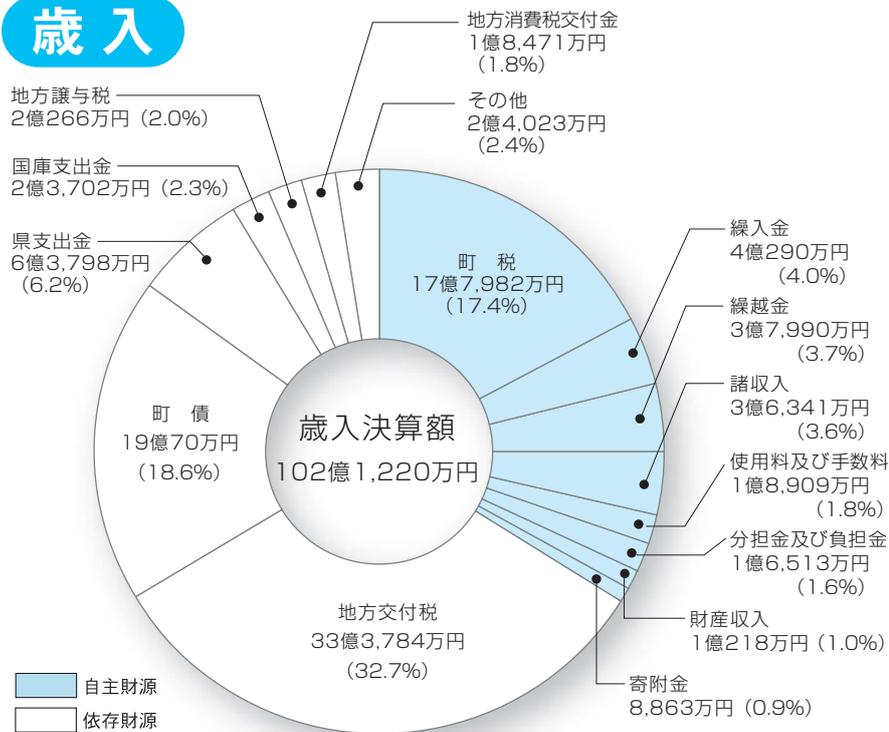


決算報告

一般会計・特別会計が認定に

平成17年度那珂川町の一般会計、各特別会計及び水道事業会計の決算が、9月12日から9月21日まで行われた第5回議会定例会で認定されました。

歳入



今回の決算は、那珂川町（平成17年10月1日から平成18年3月31日までの半年間）の決算です。1月に認定を受けた旧馬頭町と旧小川町（平成17年4月1日から平成17年9月30日までの半年間）の決算を合算して、平成17年度の1年間の決算として公表いたします。

一般会計の決算額は、歳入が102億1,220万3,405円で前年度比6.3%の増、歳出が96億6,663万7,377円で前年度比6.1%の増となり、差引額は5億4,56万6,028円。このうち繰越明許費繰越額89万円を差し引いた実質収支額は、5億4,467万6,028円となりました。

また、6つの特別会計の合計額は歳入が58億4,88万3,500円で、前年度比3.4%の増、歳出は55億4,103万6,317円で前年度比4.1%の増となりました。

水道事業会計では、資本的収入額が資本的支出額に不足する8,428万7,769円は、留保資金等で補てんしました。

特別会計・公営企業会計

会計名	区分			
	歳入注1	歳出注2	差引	
国民健康保険	20億2,075万円	18億4,958万円	1億7,117万円	
老人保健	19億3,854万円	19億61万円	3,793万円	
介護保険	9億1,237万円	8億8,466万円	2,771万円	
下水道事業	6億9,313万円	6億9,134万円	179万円	
農業集落排水事業	5,538万円	5,315万円	223万円	
簡易水道事業	1億8,471万円	1億6,170万円	2,301万円	
合計	58億488万円	55億4,104万円	2億6,384万円	
水道事業	収益的収支	2億7,197万円	2億4,514万円	2,683万円
	資本的収支	1,674万円	1億103万円	△8,429万円

注1：歳入決算額は、旧馬頭町、旧小川町の半年間の決算額と那珂川町の半年間の決算額の合算額から上半期の剰余金を差し引いた額

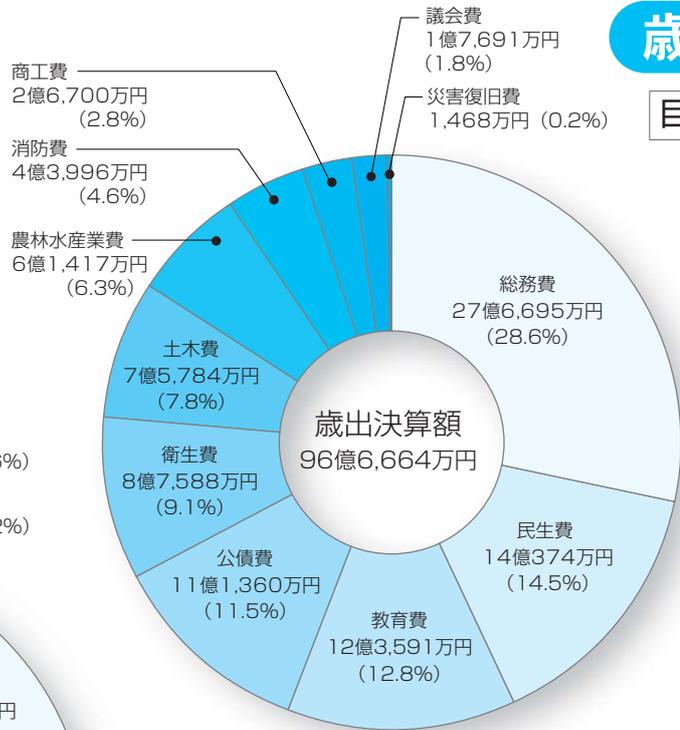
注2：歳出決算額は、旧馬頭町、旧小川町の半年間の決算額と那珂川町の半年間の決算額の合算額

※決算額については、万円未満の端数を四捨五入しています。

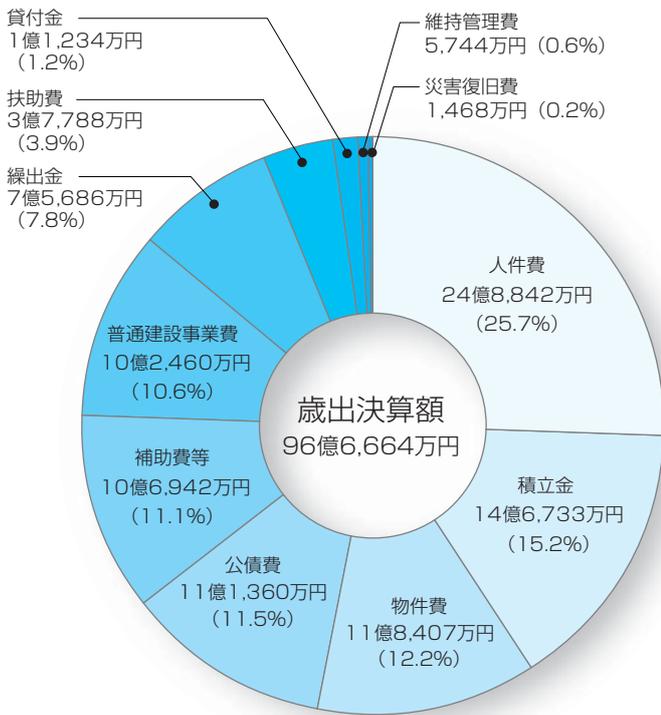


歳出

目的別



性質別



一般会計の概要

歳入で、前年度に比べ増加率の高いものは、地方交付税、町債（合併特例債）で、合併関係によるものです。また、減少率の高いものは、三位一体の改革による国・県支出金です。構成比は、依存財源66%、自主財源34%となりました。

歳出の中で、前年度に比べ増加率の高いのは総務費で、主に合併振興基金への積立によるものと、電算システム統合費です。

用語の説明

歳入

- 町税 皆さんから町に納めていただく税金
- 地方交付税 国税の中から町の財政状況に応じて交付されるお金
- 町債 大きな事業を行うための借金
- 繰入金 特定の目的のため積立金を取崩し事業実施のため繰入れるお金
- 県支出金 特定の目的のため県から交付されるお金
- 国庫支出金 特定の目的のため国から交付されるお金

歳出

- 総務費 町づくり、戸籍、徴税など町の全般的な事務に使ったお金
- 民生費 社会福祉、高齢者福祉、児童福祉などに使ったお金
- 教育費 小・中学校の運営管理、生涯学習やスポーツ活動の推進に使ったお金
- 公債費 町債を返済するのに使ったお金
- 衛生費 保健衛生やごみ処理など生活環境の整備に使ったお金
- 土木費 道路、河川、公園などの整備管理などに使ったお金
- 農林水産業費 農業、林業、水産業の振興対策に使ったお金
- 消防費 消防・防災設備の充実や消防団の運営などに使ったお金

